

私学の教育課程の展開

－ (2)学校を超えたカリキュラム・・・地域とつながる土曜講座 －

亀田 昭雄 (尾関学園高等学校教諭)

1 研究のねらい

私学にとって重要な要素の一つに地域との連携がある。地域の人々にとって自分たちの学校だと思ってもらえることが大切である。それは単に中学生を持つ保護者が、子供を通わせたいというものにとどまらない。地域にとって不可欠の存在であることが必要なのだ。

現在、筆者が勤務する私立尾関学園高等学校では地域との関係強化をめざして、それぞれの立場で活動を行っている。そのなかで地域に根ざした学校づくりの取り組みについて、実践事例を報告し新たな学校再生への一助になればと思う。

2 地域との連携としての土曜講座

筆者の所属する尾関学園高等学校は平成19年3月末をもって創立後24年を経過する。残念ながら、未だ地元で確固たる基盤を築いているとは言い難い。入学生もとくにこの5年間は減少傾向である。だが、生徒の減少が続く中で、教員の一部から地域社会との連携を重視する動きが生まれてきた。

一つの取り組みが地域ボランティアである。最初は通学路の清掃活動からスタートしたが、地域の清掃ボランティアへと拡大している。さらには地域のイベントへの参加なども行っている。高齢化社会を迎え、特に古くからの住宅地における若者不足は深刻であり、地域の伝統的祭りもできなくなってしまった地域も見られる。地域から失われてしまった若者の力を補完する上での、特に大学や高等学校・中学校の学生・生徒の役割は重要である。

また、地域における生涯学習の拠点としての大学・高等学校などの役割も大切である。小中学校と比べて、一般社会の希求する教養のニーズに近い内容のものを供給できるのが、高等学校、大学の強みである。

いっぽう、平成15年度からの新課程導入に伴って、これまで隔週5日制から完全5日制への移行が推進された。土曜日の生徒の過ごし方について、新たな取り組みが求められるようになった。授業とは異なる新しい学びの場の構築が求められていたのである。そのため本校では平成15年の新教育課程に向けて、平成14年度から月1回の土曜講座を立ち上げることになった。運営のため、土曜講座委員会が設けられた。小牧・犬山両市の教育委員会の後援を得たり、地元の区長さん宅を回ったりと、当時の土曜講座委員長は大わらわで対応を行っていた。

この土曜講座は平成18年度で5年目を迎えた。教員・生徒・地域の人々が講師となり、受講者もまた、地域の人々・生徒・教員である。卒業生が講師を務める講座もある。毎月1回第3土曜日に展開されることから土曜講座と呼ばれている。そんななかで本校の教員に何ができるのかを各先生方は模索してきた。「小論文講座」とか「数学講座」とか教員の担当教科に直結する内容もあったが、そればかりでなく趣味などを講座に置くものも設けられた。本校教員主催の講座では釣り、囲碁、料理などがつくられ、現在も好評のうちに続いているものもある。卒業生が担当する料理講座なども人気である。

土曜講座を設置するにあたり、年度の最終回にバスツアーを実施することになった。地域社会と学校が一体となった一大イベントをめざして、歴史散策ツアーと題して、教員がガイド役となって土曜日の一日を史跡めぐりに費やす企画を作り上げた。筆者も1年目は土曜講座委員として計画に参画した。学校のある小牧は、東名、名神高速道路の基点であり、また京都・奈良といった地域へのアクセスも比較的容易である。バスツアーも毎年開催されている。

3 統一ツアーの歩み

| | 年 度 | 実 施 日 | 場 所 | 主なみどころ |
|---|--------|---------------|--------|------------------|
| 1 | 2002年度 | 2003年3月1日(土) | 京都北山方面 | 竜安寺、金閣 |
| 2 | 2003年度 | 2004年3月6日(土) | 奈良市内 | 興福寺、元興寺、東大寺 |
| 3 | 2004年度 | 2005年2月19日(土) | 京都市内 | 二条城、壬生、御所 |
| 4 | 2005年度 | 2006年2月18日(土) | 奈良市内 | 奈良市内、平城宮跡 |
| 5 | 2006年度 | 2007年2月17日(土) | 京都・大津 | 比叡山、園城寺、石山寺、京都東山 |

ちなみに2006年度はバス3台、120人余りの参加であった。参加費はバス代等で3000円であった。現在、地域の恒例行事として定着しており、毎年参加いただける地域の方も多く、早くから企画についての問い合わせが多く寄せられている。

4 フィールドワーク「私鉄・地下鉄沿線歴史散歩」の誕生

土曜講座特別編の統一ツアーは初回から評判もよく、毎月の土曜講座でも企画できないかとの意見があり、2年目から実施できないかと検討に入った。企画にあたって考慮したのは以下の点である。

- 集合しやすい場所であること
- 開始時間、解散時間が毎回一定であること
- 安全が確保できること
- 下見を必ず行うこと
- 資料を用意すること

5 フィールドワーク「私鉄・地下鉄沿線歴史散歩」の歩み

| 通算 | 年度 | 実施日 | 集 合 | 経 由 | 解 散 | |
|----|----|-----|-------------|-----------------|--------------------------|------------------|
| 1 | 1 | 1 | 2003/ 4 /19 | 名鉄名古屋本線 神宮前駅 | 熱田神宮・七重の渡し・伝馬町 | 神宮前駅 |
| 2 | | 2 | 2003/ 6 /21 | 地下鉄名城線 市役所駅 | 京町通・円頓寺・名古屋城 | 市役所駅 |
| 3 | | 3 | 2003/ 7 / 5 | 地下鉄東山線 覚王山駅 | 日泰寺・愛知学院・末森城址 | 本山駅 |
| 4 | | 4 | 2003/ 9 / 6 | 地下鉄名城線 東別院駅 | 下茶屋公園・東別院・栄国寺 | 上前津駅 |
| 5 | | 5 | 2003/10/11 | 地下鉄東山線 中村公園駅 | 豊国神社 | 中村公園駅 |
| 6 | | 6 | 2003/12/ 6 | 栄駅 丸善前 | 広小路 | 矢場町駅 |
| 7 | | 7 | 2004/ 1 /17 | 名鉄 笠寺駅(積雪のため中止) | | |
| 8 | | 8 | 2004/ 2 /21 | 地下鉄名城線 市役所駅 | 白壁美観地区 | 高岳駅 |
| 9 | 2 | 1 | 2004/ 4 /17 | 名鉄名古屋本線 鳴海駅 | 鳴海宿・千句塚公園・笠履寺 | 本笠寺・桜本町駅 |
| 10 | | 2 | 2004/ 5 /15 | 地下鉄東山線 新栄町駅 | 飯田街道・名工大・鶴舞公園 | 鶴舞公園駅 |
| 11 | | 3 | 2004/ 6 /19 | 地下鉄鶴舞線 川名駅 | 飯田街道・塩付街道・壇浜 | 川名駅 |
| 12 | | 4 | 2004/ 7 /17 | 地下鉄鶴舞線 八事駅 | 興正寺・勇人池 | 八事駅 |
| 13 | | 5 | 2004/ 9 /18 | 地下鉄鶴舞線 上小田井駅 | 平田橋 中小小田井景観保全地区 小田井城址 | 中小小田井駅 |
| 14 | | 6 | 2004/11/20 | 名鉄名古屋本線 東比祀島駅 | 枇杷島橋・問屋記念館・旧美濃路 | 浅間町駅 |
| 15 | | 7 | 2004/12/18 | 地下鉄名城線 伝馬町駅 | 七重の渡し・裁断橋・ | 名鉄桜・地下鉄桜本町駅 |
| 16 | | 8 | 2005/ 1 /15 | 地下鉄鶴舞線 大須観音駅 | 大須観音・七寺・万松寺・伝馬通 | 地下鉄栄駅 |
| 17 | 3 | 1 | 2005/ 4 /16 | 地下鉄名城線 大曽根駅 | 長母寺・守山城址・ | 瀬戸線瓢箪山駅 |
| 18 | | 2 | 2005/ 5 /21 | 地下鉄名城線 茶屋が坂駅 | 上野天満宮・暗明神社・千種公園 | |
| 19 | | 3 | 2005/ 6 /18 | 地下鉄名城線 伝馬町駅 | 白鳥陵・断夫山古墳・ | 西高蔵駅 |
| 20 | | 4 | 2005/ 7 /16 | 地下鉄東山線 高畑駅 | 荒子観音 | 高畑駅 |
| 21 | | 5 | 2005/ 9 /17 | 近鉄名古屋線 伏屋駅 | 前田速念寺・下之一色 | 権野バスターミナル・名鉄名古屋駅 |
| 22 | | 6 | 2005/10/ 1 | 名鉄小牧線 上飯田駅 | 三階橋 | 上飯田駅 |
| 23 | | 7 | 2005/11/19 | 地下鉄東山線 千種駅 | 丸山神社 | 地下鉄池下駅 |
| 24 | | 8 | 2005/12/17 | 金山総合駅 | 尾頭橋・長良橋 | 近鉄烏森駅 |
| 25 | | 9 | 2006/ 1 /21 | 地下鉄名城線 西高蔵駅 | 松重間門・古渡城址 | 地下鉄東別院駅 |

学校の果たす役割を考えるうえで、土曜講座における取り組みが今後の私学のあり方を示す大きな転機になったことはいままでのない。地域における学びの場の提供は私立学校のみならず、学校のもう一つの役目である地域教育の拠点としての位置づけである。

我々現場の教員にとって、実は教室も一つのフィールドであり、生徒から学ぶことも非常に大きいのである。これこそが現場の教師の強みであり、この立場を生かしてこそその教育の日々の改善が必要ではないだろうか。

6 参加者に配布する資料（表紙のみ）

尾関学園高等学校 土曜講座
私鉄・地下鉄沿線歴史散歩 18年度第5回(通算30回)

1 日時 平成18年12月16日(土) 10:00~12:00
 2 集合場所 名鉄津島線 甚目寺駅
 3 散策経路(予定) 甚目寺駅(集合) 鳳凰山甚目寺 萱津神社
 旧鎌倉街道 豊公橋 地下鉄中村公園駅(解散)

まとめ

学校の果たす役割を考えるうえで、土曜講座における取り組みが今後の私学のあり方を示す大きな転機になったことはいうまでもない。地域における学びの場の提供は私立学校のみならず、学校のもう一つの役目である地域教育の拠点としての位置づけである。

我々現場の教員にとって、実は教室も一つのフィールドであり、生徒から学ぶことも非常に大きいのである。これこそが現場の教師の強みであり、この立場を生かしてこそその教育の日々の改善が必要ではないだろうか。